



平成 26 年 5 月 10 日

各 位

会社名 株式会社 マルマエ  
代表者名 代表取締役社長 前田 俊一  
(コード番号: 6264 東証マザーズ)  
問合せ先 取締役管理部長 藤山 敏久  
(TEL. 0996-64-2900)

### 平成 26 年 4 月度 月次受注残高についてのお知らせ

当社は、投資家をはじめとするステークホルダーの方々に、より正確に当社を理解していただくために、自社情報のタイムリー・ディスクロージャーを推進しておりますが、この一環として、下記のとおり当期平成 26 年 4 月度月次受注残高情報を開示いたします。

#### 記

#### 1. 月次受注残高

(百万円未満切捨て)

区分	受注残高	割合	対前月増減率	対前年同月増減率
F P D分野	47	31.8%	△4.5%	△48.2%
半導体分野	80	53.9%	13.8%	72.4%
その他分野	21	14.3%	△65.4%	—
合計	149	100.0%	△18.0%	7.3%

#### 2. 月次受注残高の推移

(百万円未満切捨て)

区分	H25.5月	6月	7月	8月	9月	10月
F P D分野	51	49	56	48	52	72
半導体分野	47	46	45	53	53	59
その他	2	0	0	0	4	29
合計	101	96	102	101	109	161

区分	11月	12月	H26.1月	2月	3月	4月
F P D分野	68	62	39	8	49	47
半導体分野	64	63	67	72	70	80
その他	64	121	219	191	61	21
合計	197	248	325	272	181	149

### 3. 月次受注残高の概況

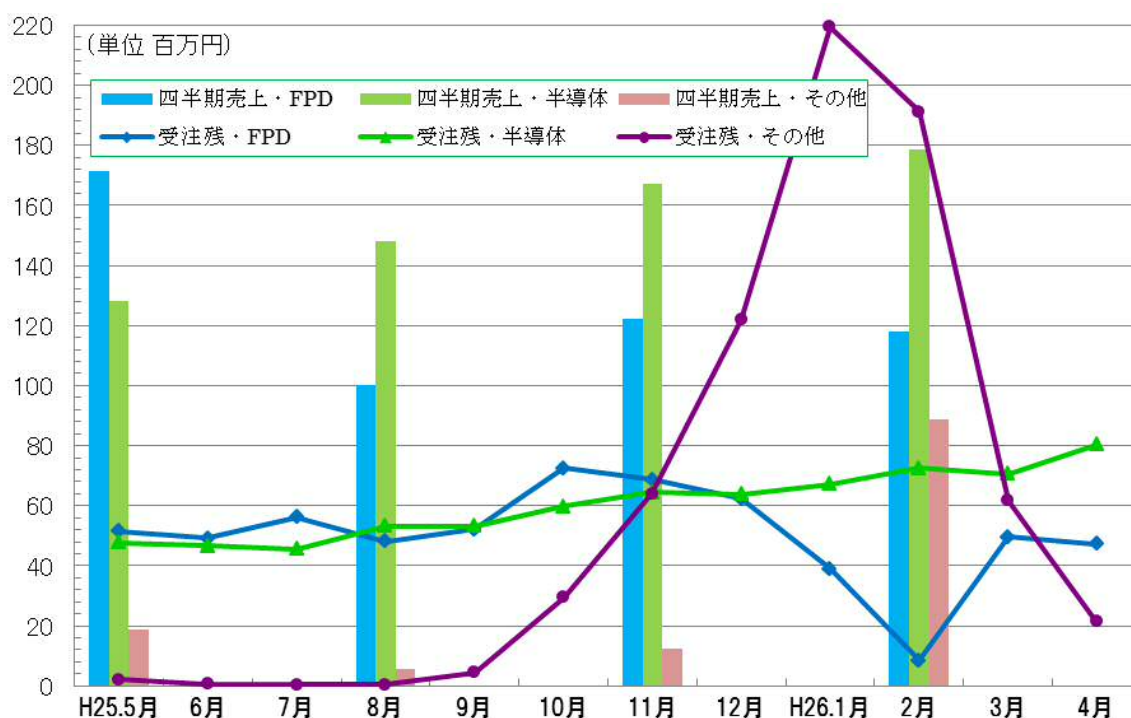
平成 26 年 4 月度末の受注残高は、FPD 分野においては、受注および出荷検収は回復基調にあり、対前月増減率で 4.5%減、対前年同月増減率では 48.2%減の 47 百万円となりました。半導体分野においては、受注および出荷検収ともに好調を維持し、対前月増減率で 13.8%増、対前年同月増減率では 72.4%増の 80 百万円となりました。一方、その他分野においては、光学分野の出荷検収が山を越えつつあることから、対前月増減率で 65.4%減の 21 百万円となりました。全般的には、一定の受注水準を維持しながらも、それ以上に売上計上が好調に推移している為、受注残は減少傾向となりました。これらの結果、平成 26 年 4 月度末の受注残高は、対前月増減率 18.0%減、対前年同月増減率 7.3%増の 149 百万円となりました。

今後の見通しといたしましては、FPD 分野では、改善傾向が出始めるも小幅な改善にとどまる見通しです。また、半導体分野では、市場環境は踊り場の状況ながらも受注品種の増加傾向が続いていることから、受注高および売上高の増加は継続する見込みです。その他分野においては、大型案件の出荷検収が一段落したことから受注残高は減少しながらも、一定の受注は継続する見通しを持っております。

全般的には、消費税の駆け込み需要による需要増は鎮静化しながらも、概ね好調な市場環境が続くと想定しております。このような環境の中で、協力企業との取引拡大を行うなど、生産能力の拡大を進め、更に受注拡大を目指します。

以 上

(参考：分野別 過去一年間の四半期売上高と月次受注残高の推移)



注 1. 上記受注残高の数値は、速報値であるため、翌月以降に修正される可能性があります。また、監査法人による会計監査を受けておりませんので、本決算の数値とは差異が発生する可能性があります。

2. 当社の受注残数値は、受注別に長短さまざまなリードタイムを持つことから、売上高と直接関連するものではありません。リードタイムの長い案件が増えると受注残が多くなり、リードタイムが短い当社月間生産能力範囲内の受注が増えると受注残が減る傾向となっております。